

## 平成 20 年度第 3 回長野市環境審議会及び平成 21 年度第 1 回専門部会における指摘事項と修正方針

|   | 指 摘 事 項   | 修 正 方 針   |
|---|---|---|
| 審 | 1. P1 第 1 行目「最も」は主観的。削除を（井出委員）  | 削除  |
| 審 | 2. P1 の説明に温暖化が問題なのか、温暖化防止が問題なのか、明確に記述。「温暖化対策は人類存続のために必要」の記述を追加。国際条約に基づく対策であるという理念的な記述を追加。（井出委員） | P1 の 10 行目から「地球温暖化による動植物の生態系や人間社会にとっての危険なレベルのリスクを可能な限り回避するために、……地球温暖化対策のスタートラインに過ぎません。」を加筆。 |
| 審 | 3. P6 「長野市の気温の推移」グラフで、トレンド線を削除。（井出委員）<br>100 年、50 年、20 年のトレンドの 3 本の線をグラフ化する方法もある。（高木委員）         | P6 トレンド線を直線から曲線に修正。   |
| 審 | 4. P6 の余白に説明文が必要。（長野市の温暖化傾向の説明を。IPCC 報告書、環境省の説明も用いて、ヒートアイランドの傾向もわかると良い。（山口委員）                   | P6 「( 1 ) 長野市内でも現れ始めている温暖化の影響」の 2~ 4 行目、6 行目、8~ 9 行目、11~ 13 行目を加筆。                          |
| 専 | 5. P 6 のスキー場の営業状況の説明で、近年の状況を説明すると良い。（山本委員）  | P6 「( 1 ) 長野市内でも現れ始めている温暖化の影響」の 8 行目に「( 同じスキー場で、……)」を加筆。                                    |
| 審 | 6. 対策をとらなかった場合と対策をとった場合の排出量の違いを一つのグラフに掲載。（樽田委員）   | P13 にグラフ掲載。   |
| 審 | 7. P13 削減目標量の記述で、現状比に「( 2005 年)」を加筆<br>2005 年に何トン排出か加筆。（須田委員）                                   | P13 目標年次及び目標量枠内に加筆。   |
| 審 | 8. P13 になぜ現状比( 05 年度比)とするのか加筆。（山口委員）  | P13 枠下 5~ 7 行目に加筆。  |
| 審 | 9. P13 に 2020 年に 15%削減の理由を加筆。推進計画をもとに取り組みを加速してもらう方向が良い。（山口委員）                                   | P13 枠下 8~ 10 行目に加筆。   |
| 審 | 10. 豊かで快適な生活を追ってきた結果、2020 年に - 15%にしても 1990 年度比 + 6%となる、など、現状の厳しさが伝わる記述を加筆。（高木委員）               | P13 グラフ下に加筆。  |

↑  
審：2月18日審議会における指摘事項

専：4月28日地球温暖化対策専門部会における指摘事項

平成 20 年度第 3 回長野市環境審議会及び平成 21 年度第 1 回専門部会における指摘事項と修正方針

|   | 指 摘 事 項   | 修 正 方 針   |
|---|---|---|
| 審 | 11. P14 P15 カテゴリー 1・2 にそれぞれ解説を加筆。<br>( カテゴリー 1 : 生活・事業活動の姿。サービスは業務部門のこと。 カテゴリー 2 : まちの姿 ) ( 山口委員 )  | P14 カテゴリー 1 枠内 1~ 2 行目加筆。<br>P15 カテゴリー 2 枠内 1~ 2 行目加筆。                            |
| 専 | 12. P14 の カテゴリー 1 の説明文で「低炭素な社会」は、意味が通りづらい。<br>( 山本委員 )  | P14 カテゴリー解説中 1 行目「低炭素な社会」を「低炭素社会」に修正。   |
| 審 | 13. P14 望ましい姿 2 の「快適」を削除。<br>( 茅野委員 )   | P14 望ましい姿 2 の「快適」を削除。「低炭素で効率的な」に修正。   |
| 審 | 14. P14 望ましい姿 2 に省エネ性のメッセージを加筆。「新しい技術を上手に使いながら・・・」とする。<br>( 水谷委員 )  | P14 望ましい姿 2 の説明を「・・・新しい技術を上手に取り入れ、質を低下させることなく、・・・」に修正。                            |
| 審 | 15. P14 望ましい姿 2 の説明で、快適性、省エネ性を両立させるというメッセージを出すべき。「サービスの提供」の意味がわかりづらい。<br>( 水谷委員 )   | P14 望ましい姿 2 の説明を「・・・や省エネ機器など新しい技術を上手に取り入れ、質を低下させることなく・・・」に修正。「サービスの提供」を「事業活動」に修正。 |
| 審 | 16. P14 「サービスの提供」に注釈を加える。<br>( 中村会長 )   | P14 「サービスの提供」を「事業活動」に修正。  |
| 審 | 17. 快適性を保つのも技術ということを省エネの記述に反映を。「過剰な豊かさは必要ない」といった内容を加筆。( 須田委員 )  | P14 望ましい姿 2 の説明で「・・・質を低下させることなく、過剰な豊かさを求めない、・・・」と修正。                              |
| 審 | 18. P15 望ましい姿 5 は「都市計画を連携して」を加筆。<br>( 井出委員 )  | P15 望ましい姿 5 の説明を「計画的な都市の整備によるコンパクトシティの形成・・・」に修正。                                  |
| 審 | 19. P15 望ましい姿 6 に「土を活かしたまちづくり」を加筆。<br>( 井出委員 )  | P15 望ましい姿 6 の説明を「身近な環境が緑にあふれ、土が活かされた・・・」に修正。                                      |
| 審 | 20. P15 望ましい姿 7 の「便利」を削除。<br>( 茅野委員 )   | P15 望ましい姿 7 の「便利で」を削除。「低炭素で」に修正。  |
| 審 | 21. 第 3 章の前に CO2 削減の原理を記述。<br>「エネルギー消費の抑制」、「エネルギー利用の効率化(省エネ)」、「CO2 を排出しないあるいは排出の少ないエネルギー生産」、「森林吸収の増大」から派生した言葉をキーワードとすると、あいまいな表現がなくなる。<br>( 井出委員 ) | P16 に温室効果ガス削減の考え方を記載。   |

平成 20 年度第 3 回長野市環境審議会及び平成 21 年度第 1 回専門部会における指摘事項と修正方針

|   | 指 摘 事 項   | 修 正 方 針  |
|---|---|--|
| 専 | 22. P16 <b>森林吸収の増大</b> で、「森林間伐」とあるが、二酸化炭素吸収対策とイメージが繋がらない。「森林整備」とした方が良い。<br>(樽田委員)   | P16 <b>森林吸収の増大</b> の解説 1行目「森林間伐」を「森林整備」に修正。  |
| 専 | 23. P16 「CO2」と「二酸化炭素」、「排出」と「排出量」両方の記載がある。どちらかに統一して記載する方が良い。<br>(山本委員)               | 素案中の「CO2」は単位を表す記号以外は、「二酸化炭素」に修正<br>「二酸化炭素排出」は「二酸化炭素排出量」に修正。<br>P18 <b>方針 4</b> の「省 CO2 へのエネルギー転換」は「低炭素エネルギーへの転換」に修正。 |
| 専 | 24. P16 「1. 温室効果ガス排出量削減の考え方」の「1.」を削除。<br>(山本委員)                                     | P16 項目番号「1.」を削除。   |
| 専 | 25. P16 の見出しに「温室効果ガス排出量削減の考え方」とあって、説明に「二酸化炭素排出量の少ない・・・」とあるが、相互の関係がわかりづらい。<br>(山本委員) | P16 <b>エネルギー消費の抑制</b> の解説 2行目に「温室効果ガス排出量の 9 割以上を占める」を加筆。   |
| 審 | 26. 3 章の前あたりで、原理を用いながら「の結果、この姿が実現している」の部分を文章化して加筆（排出量削減、エネルギーの高効率利用など。）<br>(中村会長)   | P17～23 <b>方針 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・14・15・16・17・18・19</b> の <b>説明文</b> に、4 原理をキーワードとする説明を追加。                        |
| 審 | 27. P17 <b>方針 1</b> の「次世代住宅」を「省エネ住宅」に修正。<br>(茅野委員)(中澤委員)                            | P17 <b>方針 1</b> 「次世代住宅」を「省エネ住宅」に修正。  |
| 専 | 28. P20 <b>方針 8</b> に「事業所等」とあるが、他で記述している「事業所」との使い分けがわかりづらい。<br>(高木(亜)委員)            | P20 <b>方針 8</b> の「事業所等」を「事業所」に修正。  |
| 審 | 29. P26 <b>枠内</b> の実施主体に「施策を推進する実施主体」など、受け手側と異なることの解説を加筆。<br>(山口委員)                 | P26 <b>枠内</b> 「実施主体」を「施策を推進する実施主体」に修正。<br><b>枠内</b> に説明を 2 行加筆。  |

平成 20 年度第 3 回長野市環境審議会及び平成 21 年度第 1 回専門部会における指摘事項と修正方針

|   | 指 摘 事 項  | 修 正 方 針  |
|---|--|--|
| 審 | 30. P27 方針 1 『省エネ住宅 省エネビルの普及』施策 1- 1の「 省エネ住宅のモデル例提示」で、モデル例の OM ソーラーハウスは商品名になる。複数例の提示が必要。 (高木委員)(中澤委員)            | P27 方針 1 『省エネ住宅 省エネビルの普及』施策 1- 1の「 省エネ住宅のモデル例提示」のモデル例 A、モデル例 B を削除。<br>「ハウスメーカー、工務店などの建築事業者が各々で取り扱う省エネ住宅・リフォームのモデル例を、新築・リフォームの相談のあった消費者に提示。<br>《例》OM ソーラーハウス、外張断熱住宅、無暖房住宅、スーパーウォール工法住宅、省エネリフォームなど」に修正。<br>施策 1- 2の「 モデル A 住宅の普及」を削除。 |
| 審 | 31. P28 方針 1 「自然エネルギー」の定義が必要。「再生可能エネルギー」の使用との統一性を検討。 (水谷委員)  | P17 に「自然エネルギー」の注釈、P15 に「再生可能エネルギー」の注釈を加筆。自然エネルギーとリサイクルエネルギーが混在するプロジェクトがあり、用語使用の統一は困難。  |
| 審 | 32. P28 方針 1 『自然エネルギーの利用』の「公共施設への導入の推進」に「グリーン電力化の検討」を追加。「多様なエネルギーのベストミックス」の「グリーン電力使用量の増加推進」に「グリーン電力化」を追加。 (入江委員) | P28R 2 「多様なエネルギーのベストミックス( 施策 2 - 2 )」のグリーン電力使用量の増加推進に「グリーン電力証書化及び」を加筆。「公共施設への導入推進( 施策 2 - 4 )」に「 発電電力のグリーン電力証書化検討」を加筆。   |
| 専 | 33. P28 方針 1 『自然エネルギーの利用』に地熱利用を記載してほしい。 (山本委員)   | P28 『自然エネルギーの利用』の「多様なエネルギーのベストミックス( 施策 2 - 2 )」に「 地中熱ヒートポンプシステムなど、・・・」を加筆。   |
| 専 | 34. P29 に 2012 年度時点の削減期待量があるが、他に併せて、2020 年度からの記載でよい。 (山本委員)  | P29 の 2012 年度の削減期待量を削除。  |
| 審 | 35. P32 『高効率給湯器』の灯油式給湯器効率について 13%は節湯機能付の効率になっていない。 (茂木委員)  | P32 節湯機能付の計算削除。  |
| 審 | 36. P33 『事業所への省エネ機器 設備の導入』で、「蛍光灯の HF 化」の HF に注釈必要。HF の標記統一を。HP に注釈必要。 (中澤委員)                                     | P33 『事業所への省エネ機器 設備の導入』の「Hf」を「HF」に修正。「HP」を「ヒートポンプ」に修正し注釈を加筆。  |

平成 20 年度第 3 回長野市環境審議会及び平成 21 年度第 1 回専門部会における指摘事項と修正方針

|   | 指 摘 事 項   | 修 正 方 針   |
|---|---|---|
| 審 | 37. P33 方針 8 事業所への省エネ機器 設備の導入」に「省エネ建築の導入促進」(ビル省エネ基準の義務化)を追加。<br>(茅野委員)          | P33 方針 8 事業所への省エネ機器 設備の導入」の 施策 8 - 2」に「ビル省エネ基準の義務化」「実施主体：行政」を加筆。<br>P17 方針 1及びその施策 (1 - 1 .2.4)に「省エネビル」を加筆。 |
| 審 | 38. P36 方針 13 環境教育 学習の推進」に「学習先と連携する相談窓口の設置」を環境政策課担当で追加。<br>(水内委員)               | P36 小 中学校等での学習機会の拡大 (施策 13 - 1)」に「学校と環境学習の講師側とを連携する相談窓口の設置」を加筆。   |
| 審 | 39. P38 下から 2 行目の「40 際」を「40 歳」に修正。<br>(中澤委員)                                    | P38【R11 削減量算出条件】中の「40 際」を「40 歳」に修正。   |
| 専 | 40. P38 以降の削減期待量の記載が「方策推進による・・・」となっている。P37 以前に合わせて「施策推進による・・・」に修正すべき。<br>(樽田委員) | P38 以降「方策推進による・・・」を「施策推進による・・・」に修正。   |
| 審 | 41. P40 方針 5 緑を活かしたエネルギー消費の抑制」に「街路樹の形状検討」を加筆。<br>(井出委員)                         | P40 緑を活かしたエネルギー消費の抑制」に「街路樹の形状検討」を加筆。  |
| 審 | 42. P42 方針 18 エネルギーの面的利用促進」にコージェネレーションシステムを追加。<br>(須田委員)                        | P42 方針 18 エネルギーの面的利用促進」の上 2つの 項目に「コージェネレーションシステムなどによる」、2番目の 項目に「地域での効率の良いエネルギー利用を促進」を加筆。                    |
| 審 | 43. P45 計画の推進体制」に体制の関連と、5 年に 1 度など、一定時期に計画見直しすることを文章化して追加。<br>(中村会長)            | P45 計画の推進体制」【実施体制図】枠内 2行目～ 5行目に説明を加筆。   |
| 審 | 44. P45 右の「計画評価会」に「技術専門家」を追加。<br>(井出委員)   | P45 計画評価会」枠内に「技術者・学識経験者」を加筆。  |
| 審 | 45. エコポイント制度を総合的に検討できる体制として、P46 活動内容」にエコポイント制度の検討を追加。<br>(樋口委員)                 | P46 長野市地球温暖化防止活動推進センター 活動内容」に「エコポイント制度構築検討」を加筆。   |
| 審 | 46. P46 活動内容」の CASBEE に注釈が必要。<br>(中澤委員)   | P46 に CASBEE の注釈を加筆。  |
| 審 | 47. 子供たちもイメージとして理解できて、夢が描けるような情報提供を色々な媒体で進めていくことを明示する。<br>(中村会長)                | P46 長野市地球温暖化防止活動推進センター 活動内容」に説明 2～ 4 行を加筆。  |

平成 20 年度第 3 回長野市環境審議会及び平成 21 年度第 1 回専門部会における指摘事項と修正方針

|   | 指 摘 事 項  | 修 正 方 針   |
|---|--|---|
| 審 | 48 .P48 <b>ながの環境パートナーシップ会議の 活動内容</b> 」に環境行動計画の推進以外の内容も追加。<br>(山口委員)  | P48 <b>ながの環境パートナーシップ会議の 活動内容</b> 」に「環境基本計画に基づく環境調和都市の実現と、」を加筆。  |
| 審 | 49 .P49 <b>参考 2PDCA サイクル枠内</b> や、 <b>表紙裏枠内</b> に「情報の共有」、「積極的な情報発信」といったキーワードを入れる。P49 <b>参考 2PDCA サイクル枠内</b> に「周知」に代わり、「結果・進捗状況を市民に情報提供、情報の共有」など説明に追加。<br>(宮入委員) | P49 <b>参考 2PDCA サイクル枠内</b> に「情報の共有」、「積極的に施策の情報発信」、「評価結果の共有」、「評価・審議会の審議結果を市民に向けて情報提供」を加筆。<br><b>表紙裏枠内 7～ 9行目</b> を加筆。              |
| 審 | 50 . 経済活動の活性化・向上しながら結果を出していく検討を。高齢者のマンパワーを活かせる工夫を(PDCA サイクルなどへ)<br>(福田委員)  | P49 <b>計画評価会 活動内容</b> 」に、「経済活性化への貢献も視野に入れた・・・新規に検討することに繋がります。」<br>P46 <b>長野市地球温暖化防止活動推進センター 活動内容</b> 」の説明に「・・・高齢者まで幅広い世代に・・・」を加筆。 |
| 審 | 51 .P52 自動車道が片道三車線もあり、脱自動車社会というイメージから遠いように思われる。緑陰も意識して、歩道と自転車道をもっと素敵なイメージに。自動車道は片道二車線で良い。<br>(中澤委員)  | P52 イメージ図修正。  |
| 専 | 52 . P52 の街の姿が 3 車線に見える。自転車道を車道から離すようにはっきり描いた方が良い。<br>(中村委員)   | P52 自転車道に車道と分離する縁石を追加。  |
| 専 | 53 . P60 の表に長野市の温室効果ガス排出量算出方法の内容を注釈として追加すると施策が反映する部門がわかりやすい。<br>(伊東部会長)  | P60 の表下 2行を注釈として加筆。   |
| 専 | 54 . リーディングプロジェクトの削減期待量を一覧表にするとわかりやすい。<br>(樽田委員)   | 資料編 P61 に記載。  |